



Victor RE-42

3 スピードプレイヤー付き

5 球スーパー

定 格

回路方式	5球スーパー・ヘテロダイン	ラジオ付電器
受信範囲	535~1605KC	
出力	最大 2.9W	
スピーカー	6.5 吋ダイナミック・スピーカー	
消費電力	42W	
寸法	495×320×410mm	
重量	14.2kg	
ピック・アップ	クリスタル・ピックアップ (サブファイア針使用)	
モーター	3スピード・インダクション・モーター、スピードレギレーター付	

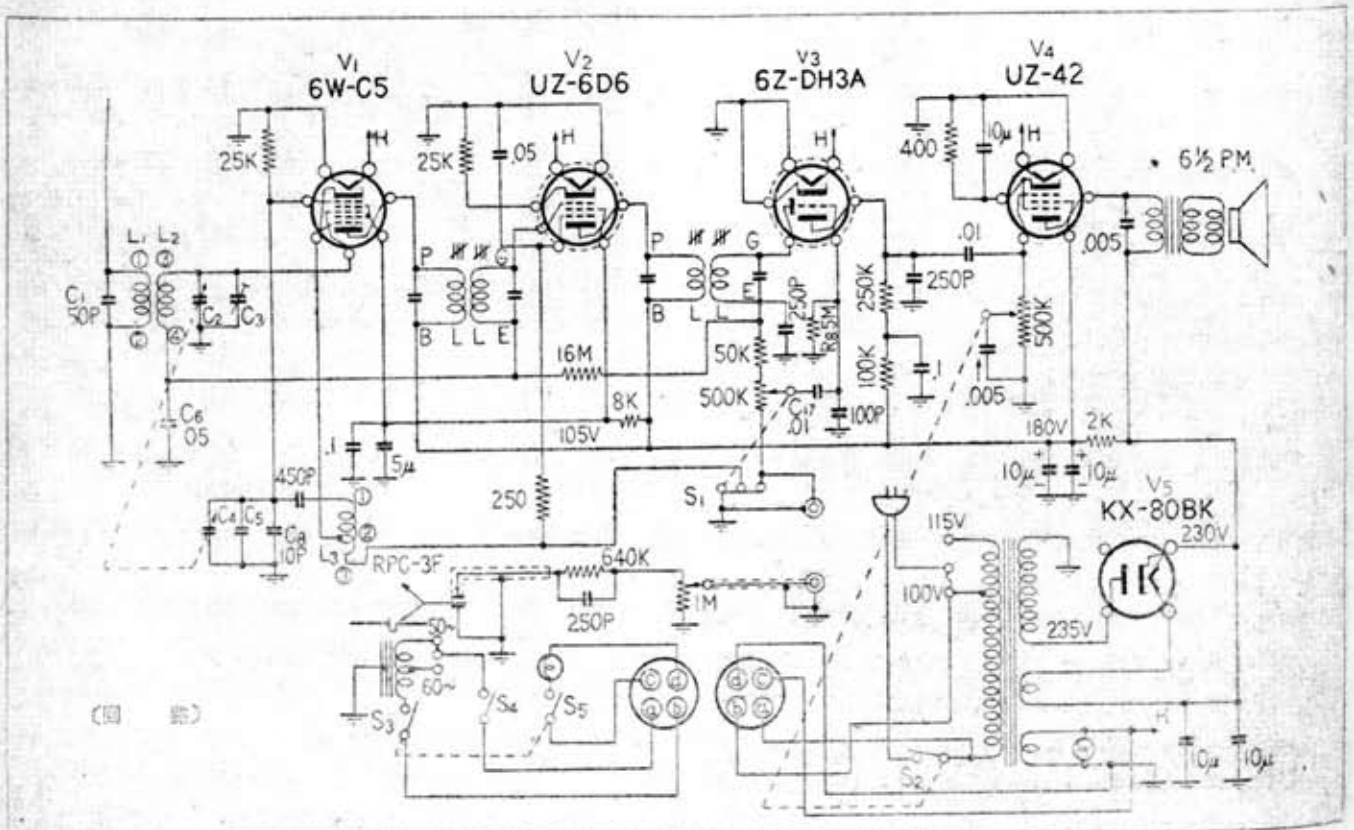
3 スピード・プレイヤーは、これからは是非とも必要なもので、レコード界の先駆のビクターとしては、いきおいこのLP盤普及のため相当本腰を入れている様子は、これまでも数多くのLP用プレイヤーを発売していることでもわかる。以前にビクターは、2 スピードつまりEP盤とLP盤専用のプレイヤーを発表したが、現状の日本で

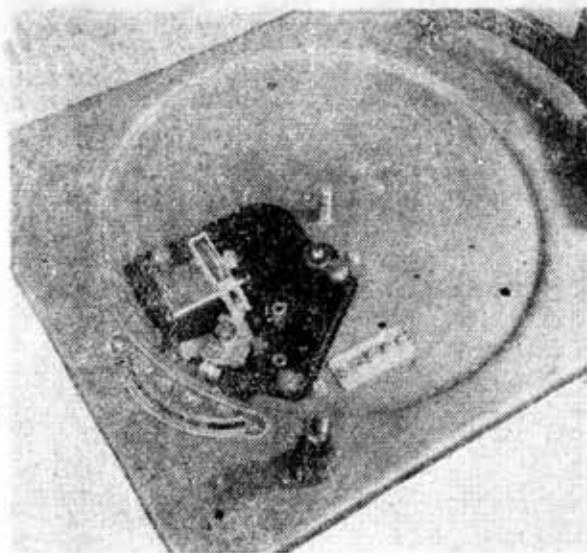
は、やはりSP盤もかかる3 スピードが適当であろう。

3 スピードにも多くの優秀で、かつ、取扱い複雑なセットが市販されているが、一般家庭で使う場合、この取扱いが難しくては、仲々LP普及には役立ちそうにもない。

3 スピードのために、イコライザーをあちこち使ってみたり、音質切換え、その他の装置が、LPを愉しむためにいくつもあつたのでは、普及のためには、非常にまずいわけで、取扱いが簡単で、丈夫な機械、そのうえ音質もよいということが必要かくべからざる要素だと思う。

このビクターの製品 RE-42 型は、十分にこの要素をマスターしており、大いにLP普及に役立つと思う。機構的

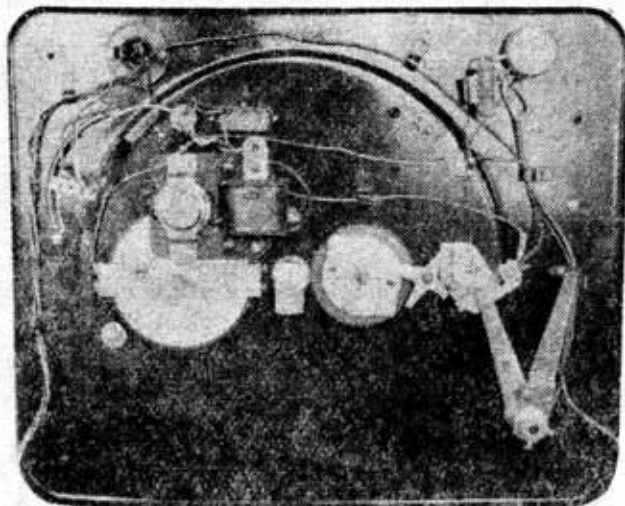




(モーターボード上面)

にも、他の会社のプレイヤーとはまた異つた特長をもっている。RE-42型のラジオ部分は5球スーパーでマジック・アイのついていないのは、最近いたる所の会社の製品にマジック・アイ付のセットを見受ける世の中、ちよつと意外で、スピーカーがあるなら、同調を完全にとり、良音質でラジオを愉しむために必要だと思うが、ケース全体からうけるかんじは、ビクター色豊かな、近代的センスに富んだデザインで、色調も落ちついたチョコレート色で、少しも他会社のセットに劣らない。ケース上面はゆるやかなカーブを画き、ダイヤル下部のプラスチック製の棧からうける感じは、クリーム色のプラスチック製のダイヤルとこつた照明装置でえがかれるシルエットで仲々よい。

高さは、320mm、幅495mm、奥行410mmでこじんまりとまとまっており、高級桜材を使っている。つまみは右から選局用、レコード・ラジオの切換え、及びラジオ音量調整器、音質調整及電源スイッチとなつている。国産セットに共通していることだが、選局用つまみを廻して感ずるのは疲れることで、最近のように多くの局がダイヤル上に分布し、ダイヤル指針を左右に動かすことが多い今日では、フライ・ホイールをつけた方がはるかに同調しやすい。このフライ・ホイールをつけてないと、減速比の大きいダイヤル装置では一般の人は、廻転させることが面倒になるの



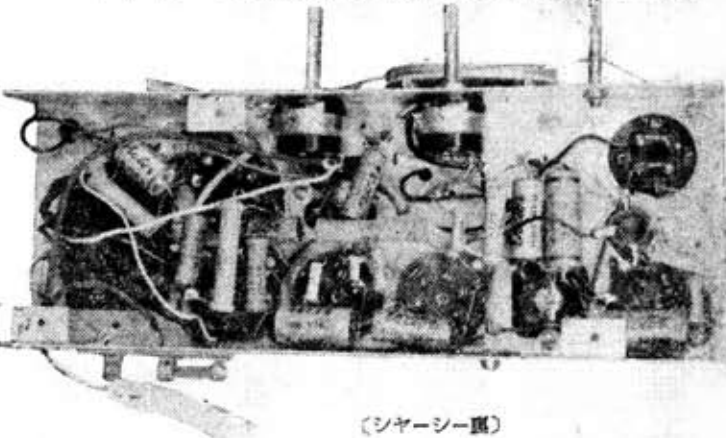
(モーターボード裏面)

ではなからうか。

回路的には殆んど変わつた点、及び特長はみられないが、前述したように、複雑なイコライザーや、可変装置をやめて、誰にでも気軽に操作できるようにするために、音質調整器は電源スイッチ兼用で、42グリッド入力インピーダンスを変化させているが、実際のところ、あまり効果があるとはいえないが、普及のためには、やむを得ぬことであろう。ラジオとレコードの切換えは、特殊な接点をもつたポリウムで行なつているが、6W-C5の発振コイルのアース側、及び6D6のカソード抵抗をアースから浮かすので、ラジオ音がレコード演奏中に混入することは、絶無である。スピーカーの音響的效果も、RE-42型では別に、とつていないが、相当の肉厚のバツフル・ボードを使つているので、ある程度の効果はあるようである。

LP演奏時のイコライザーは、極く簡単に、CRを並列にだかしているだけですませているが、なにしろスピーカーが6吋半のことゆえ、低音部は相当にけずられるので、高音もそれに応じてバランスさせる必要があるからであろう。

プレイヤーの構造は非常に簡単で、動作確実であり、某



(シヤーンシー機)

社のと比較してみると仲々興味がある。使用ビツク・アツプは、ビクターでCP-300Aと称するクリスタル型で、モーターは、ターンテーブルドライブ型のEM-30Aを使つている。速度変換はレバーを動作させることにより写真でわかるように、ドライビングホイール・アツセンブリーが、メタルモーターボードの下にある円板状のドライビング・ホイールの円周上を移動し、速度をかえるようになっていながら、もち論OFFの時は、すべての圧迫ははずれゴムの磨耗をふせぐようになつている。

オート・ストップ装置も好妙で、ターンテーブルの回転により、センタースピンドルが回転され、モーターボード下にあるカムを動かすようになつているが、実に動作確実であつた。

モーターボードは、スプリングにより、完全にフローティングされているが、その止めネジが振動や、運搬途上ではずれるようなことはないであろうか。この点は、某社のように、工夫を加える必要があると思う。

總じていえることは、RE-42型は、LP普及のために非常に役立つと思う。